資料　４－２

平成 30 年度の地方創生推進交付金を活用した事業の評価シート

大和市の事務事業名	健康都市やまと総合計画の施策体系		
さがみロボット産業特区 促進支援事業	健康領域	社会の健康	
	基本目標	8	市民の活力があふれるまち
	個別目標	2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
	めざす成果	1	商店街や企業が活発に活動している

上記の事務事業のうち、平成 30 年度に交付金を活用した取り組み

交付金事業の名称	実　施　概　要
首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト	①　生産性向上セミナー等の実施 ②　産業用ロボット導入のための「自動化コンサルティング」業務の実施 ③　文化創造拠点シリウスにおける介護等に役立つロボットの展示

目　　的

産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。

事業費
（H30 年度決算額：千円）

事業費	交付額
６，７９８	３，３９９ （補助率 1/2）

実施結果と効果、課題等（所管課の評価：産業活性課）

①これまで同様、産業用ロボットの導入を検討している事業者等を対象として生産性向上セミナーなどを計３回実施し、合計２０社、３１名が参加したほか、より多くの事業者に産業用ロボットへの興味を持ってもらうため、成功事例などを紹介する「産業用ロボット活用フォーラム」を開催し、４９団体、８１名が参加しました。
②市内事業者２社が自動化コンサルティング業務を活用しました。
③文化創造拠点シリウス４階の健康都市図書館に「介護に役立つロボットコーナー」を設け、４種類のロボットを展示することで、ロボットへの普及啓発を図りました。（平成 30 年度のシリウス来館者数は、3,179,020 人）
④過去に自動化コンサルティングやセミナーを受けた事業者のうち、２社で産業用ロボットが導入され、企業支援につながりました。

ＫＰＩ等の達成状況（上段：目標値、下段：実績値）

項目		H28 年度	H29 年度	H30 年度
大和市の独自指標	セミナー等参加者	２０人	２０人	１０４人
		２７人	５９人	１１２人
	産業ロボット導入支援(コンサルティング)	５社	３社	２社
		３社	１社	２社
	展示スペースの設置	１か所	１か所	１か所
		１か所	１か所	１か所
相模原市との連携指標	労働生産性２倍以上達成企業	４社	７社	１５社
		５社 （うち、大和市分０社）	７社 （うち、大和市分０社）	２１社 （うち、大和市分２社）
	産業用ロボット導入に関する金融機関等融資額	100,000 千円	200,000 千円	300,000 千円
		130,000 千円 （うち、大和市分０千円）	148,000 千円 （うち、大和市分０千円）	379,308 千円 （うち、大和市分 141,308 千円）

「健康都市　やまと」 まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系	基本目標Ⅲ　仕事がみつかりやすく、働くことが楽しいまち （１）　近くで働けるまちにする ③　創業・企業の支援を行う

総合計画審議会の評価

総合戦略への有効性	その理由等
Ａ．総合戦略の目標達成に有効である	
Ｂ．総合戦略の目標達成に有効ではない	

＜参考：昨年の評価＞

総合計画審議会の評価	
総合戦略への有効性	**その理由等**
A．総合戦略の目標達成に有効である	・市内製造企業を対象に生産性向上・自動化セミナー等を開催したほか、年間 300 万人以上が来館するシリウスにおいてロボット展示を行うなど、市民や事業者のロボットに対する認知度や意識を高めてきたことは、交付金事業の目的の一つである新ビジネスの創出につながる取り組みと捉えることができます。 ・今後は、製造業以外の多様な分野に施策の対象を広げることも視野に入れながら、機運の高まりを実際のロボット導入に結び付け、産業の活性化を図るなど、基本目標Ⅲ「仕事がみつかりやすく、働くことが楽しいまち」の実現につなげられるよう取り組んでください。
B．総合戦略の目標達成に有効ではない	（　　）であるため。

首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクトについて（大和市分の事業概要）

（１）セミナー等参加者

◆生産性向上セミナー◆

主に製造業の中堅技術者を対象に、大学研究者やメーカー技術者を講師に招き、自動化や生産性向上の基礎知識や事例を学ぶセミナー。

【第１回】　日　　時：平成３０年１２月１４日（金）
　　場　　所：大和市文化創造拠点シリウス内　生涯学習センター６１０大会議室
　　参加者数：１２名
【第２回】　日　　時：平成３１年２月４日（月）
　　場　　所：大和市文化創造拠点シリウス内　生涯学習センター６０９小会議室
　　参加者数：１１名

◆ロボット操作教育セミナー◆

産業用ロボットの導入を予定している企業を対象に、安全衛生特別教育規定に基づき、産業用ロボットの基礎的な動作とプログラミング、関係法令等を２日間で学ぶ講座。修了後、産業用ロボットを取り扱う資格が授与される。

日　　時：平成３０年１２月２０日（木）、２１日（金）
場　　所：さがみはらロボット導入支援センター
参加人数：８名

◆産業用ロボット活用フォーラム◆

広く市内企業などを対象に、産業用ロボット活用の意義や、中小企業における具体的な導入事例、大和市におけるロボット活用促進に関する取り組みを紹介し、生産性・付加価値の向上に役立ててもらうことを目的としたフォーラム。

日　　時：平成３０年１１月２１日（水）
場　　所：大和市文化造像拠点シリウス　サブホール
参加人数：８１名

（２）産業ロボット導入支援

・「自動化コンサルティング」とし、技術コンサルタントが産業用ロボット導入を検討する企業を訪問調査し、導入に向けた課題の整理や提案を行うもの。
・平成３０年度は、２社が自動化コンサルティングを活用。
　１社目・・・現場確認：平成３１年２月２２日／結果報告：平成３１年３月５日
　２社目・・・現場確認：平成３１年２月２５日／結果報告：平成３１年３月５日

○展示スペースの設置

開　　設　　：平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日

展示時間　　：年末年始を除く毎日午前９時～午後９時（日曜日・祝日は午後８時まで）

展示場所　　：文化創造拠点シリウス４階健康都市図書館

展示ロボット：４機種

◆排せつ介助ロボット（１種類）

・・・排せつを感知し自動吸引、洗浄するロボット（「ダイアレット」）

◆認知症予防コミュニケーションロボット（２種類）

・・・認知症予防効果が期待される、人の呼び掛けに反応する人型・動物型ロボット（「ＰＡＬＲＯ」「パロ」）

◆介助者支援ロボット（１種類）

・・・腰に装着することにより、持ち上げる動作をアシストするロボット（「ＨＡＬ（介護支援用腰タイプ）」）

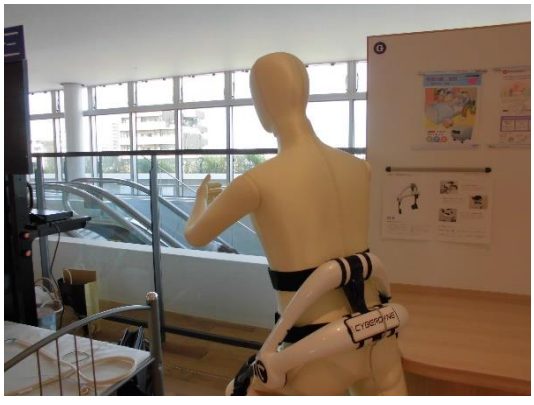
a

b

c

d

e



a コーナー全景	b 排せつ介助ロボット
c コミュニケーションロボット（ＰＡＬＲＯ）	d コミュニケーションロボット（パロ）
e 介助者支援ロボット（ＨＡＬ）	